

令和8年度印西市ふるさとづくり運営会議 会議録

- 1 開催日時 令和8年10月5日（月）午前9時30分から午前10時15分まで
- 2 開催場所 印西市役所別館2階26会議室
- 3 出席者 石井博美委員、戸澤明德委員、吉岡宏和委員、三田薫委員、居相博亮委員
- 4 欠席者 平野浩二委員、平沢浩一委員、河村剛光委員、西野淳二委員
- 5 事務局 経済振興課藤巻課長、菅谷室長、今井主査補、山田主査補
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 事 (1) 座長の選出について
(2) ふるさとづくり運営基金活用事業について
 - ①令和7年度 ふるさとづくり運営基金活用事業について
 - ②令和8年度 ふるさとづくり運営基金活用事業について
 - ③令和9年度 ふるさとづくり運営基金活用事業（案）について
- 8 議事録（要点筆記・一部要約）

○座長の選出について

座長に吉岡宏和委員が選出された。また副座長に石井博美委員が選出された。

○ふるさとづくり運営基金活用事業について

事務局より説明を行った。

○質疑

議事① 質疑なし

議事②	委員	令和8年度のイルミネーションイベントについて、令和7年度と比べて基金充当額は増加している一方で、点灯期間は短縮しているのはなぜか。
	事務局	令和7年度は、新たな試みとして、点灯期間中に市民団体等によるイベントを実施した。その中で、特に厳冬期である1月のイベントについては、強風や寒さなどにより、運営面で相応の負担が生じるという課題があった。令和8年度のイルミネーションイベントについては、資産経営課が全体調整を行い、点灯期間中に民間事業者や市民団体等による週末イベントを計画している。昨年度の課題等も踏まえ、実施体制を総合的に判断した結果、点灯期間を短縮することとしたものである。なお、基金充当額の増加については、警備費の確保に加え、昨今の物価高騰及び人件費上昇によるものである。

	委 員	令和 8 年度のイルミネーションイベントについて、11 月 14 日を点灯開始日としているのは、七五三の時期と関係があるのか。もし関係があるのであれば、成人式の時期まで点灯期間を延ばしてもよかったのではないか。
	事 務 局	点灯開始日については、七五三の時期とは関係ない。また、点灯期間については、前述のとおり、期間中のイベント実施体制等を総合的に判断した上で決定したものである。
	座 長	令和 8 年度の基金充当額は、令和 7 年度と比べて増加しているものが多く見受けられる。物価高騰や人件費上昇等を踏まえると妥当と思われるが、その中でも 7 番の「空・水・空芸術祭」の金額が突出して増加している理由は何か。
議事③	事 務 局	「空・水・空芸術祭」については、複数年度にわたって実施する事業であり、各年度の事業計画及びそれに応じた負担金を年度ごとに設定している。このため、年度によって基金充当額に増減が生じるものである。
	委 員	令和 9 年度（案）では、令和 8 年度と比べて 6 番の「空・水・空芸術祭」の基金充当額が減少している。また、基金充当額の総額についても約 700 万円減少しているが、その理由は何か。基金充当額の総額の減少は、収入（ふるさと納税）が減少したことによるものか、それとも充当事業が減少したためという理解でよいか。
	事 務 局	「空・水・空芸術祭」については、総額 2,000 万円の予算を、令和 7 年度から令和 9 年度までの執行計画に応じて配分している（令和 7 年度 100 万円、令和 8 年度 1,200 万円、令和 9 年度 700 万円）。このため、令和 9 年度は令和 8 年度と比べて基金充当額が減少している。また、令和 8 年度まで本基金を充当していた中学生海外派遣事業（イングリッシュアカデミージャンプ）について、令和 9 年度からは教育振興基金を充当することとなったため、その分、基金充当額の総額が減少している。なお、基金充当額の総額の減少は、寄附金収入の減少によるものではなく、充当対象事業の減少によるものである。
	委 員	寄附者から、イルミネーション実施団体への支援のほかにも、地域活性化につながるような基金の使途について意見等はあるか。
	事 務 局	寄附者には、個別事業ではなく、①ふるさとづくり運営基金②保健福祉基金③教育振興基金の 3 つの基金の中から、寄附の目的に応じて選択いただいている。基金の活用に

については、より多くの事業への活用や地域への還元の在り方も含め、今後も様々な意見を伺いながら進めていく。

その他 座 長 事務局におかれては、本日委員からいただいた意見を踏まえて、今後の基金の活用について進めていただきたい。

以上

令和8年度印西市ふるさとづくり運営会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和8年10月13日

印西市ふるさとづくり運営会議委員

三田 薫